

「知床野生動物エサやり禁止キャンペーン」に基づく試行の進め方について
(たたき台)

提案内容の概要

本提案は、野生動物、特にヒグマについて、エサやりの禁止をはじめとした正しい知識やマナーの啓発を行うものである。パンフレット等の作成、レクチャー等の映像の放映、プロモーション参加時の周知、パトロール監視員の配置等の活動が想定される。

知床エコツーリズム戦略の基本原則との対応

- ・正しいヒグマの知識とマナーを伝えることにより、不必要なヒグマの駆除を減らすことができる。
- ・人馴れグマの発生を抑制することにより、ヒグマによる人身事故を予防できるとともに、一定ルール下のヒグマ観察の機会の確保、より安全な利用地の散策機会の確保等が可能である。
- ・ヒグマによる事故を予防することで、安定的な観光事業の実施に繋がる。

今後の検討の進め方

今後は個別部会を組織し、詳細を検討する。

個別部会の構成

- ・知床斜里町観光協会、知床ガイド協議会、ウトロ自治会、ウトロ地域協議会、環境省、斜里町、北海道、北海道開発局、林野庁、羅臼町、知床羅臼町観光協会、知床財団とする。
- ・事務局は知床斜里町観光協会が務め、環境省、斜里町がサポートを行う。
- ・部会の進行役は斜里町が担当する。
- ・専門家として間野委員が加わる。

部会設置後の検討事項（基本方針との対応）

- ・関係する団体や羅臼町との連携に留意する。